

平成28年度 長野県上田高等学校定時制始業式 校長講話

平成28年（2016年）4月7日（木）

みなさん、おはようございます。

あらためて、新入生のみなさん、本校へのご入学、おめでとうございます。
今日はあいにくの雨模様ですが、入学式の日は、例年よりも早く咲いた桜の花が満開で、その桜の花に祝福されてみなさんが入学できたことはとてもよかったと思っています。

只今は、対面式と新任式が行われましたが、対面式での生徒会役員の諸君は本当に見事な進行でしたし、クラブ紹介で前に出て話した諸君も堂々としていてとてもよかったと思います。聴く側の姿勢も素晴らしかったですね。

さて、平成28年度が今日から始まります。

私は昨年4月に上田高校に赴任してきて、ちょうど1年間になりますが、定時制の生徒たちを見ていて、お世辞でなく、すばらしいなあ、頑張っているなあと思っています。

昨年、新年度早々に電車の中で会った本校定時制の生徒数人が、しっとりとした挨拶をしてくれました。「校長先生、こんばんは」と言い、誰だろうと思っている私の表情から察知したのでしょうか、「定時制の〇〇です」と名乗ってくれました。何とも言えず、親愛の情のこもった、あたたかい挨拶でした。

クラブ活動を毎日一生懸命やっている生徒がいて、結果も段々と伴って来たり、伴いつつあったりします。

生活体験発表会では、クラス内で自分の思いを語り、選ばれたクラス代表が出場した校内大会では、来ていた来賓のみなさんも含めて、皆感動をしていました。

授業でも、落ち着いて前向きに取り組んでいる生徒が多くいます。

こういったすばらしい取組がどうしてできるのか。

それには、二つ理由があるのではないかと私は思っています。

一つには、中学まで、あるいは入学までに、様々な困難に出会ってきたみなさん一人ひとりが、高校入学に当たって、上田高校定時制でなら頑張れそうだ、絶対に頑張るぞという決意を持って入学してくるからであり、もう一つには、この定時制には、自分のことばかりを考えるのではなく、友人のことも一生懸命考える生徒がいて、生徒のことを一生懸命考える先生がいるからだと思います。

年度の初めは「節目」であり、しばし立ち止まって考えたり、決意を新たにしたりすることができる時でもあります。

平成28年度の始業式に当たって、みなさん一人ひとりが、自分のペースでいいので今年

度1年間頑張るぞという決意と、周囲に対する思いやりの気持ちを確認してほしいと思っています。

そして、今年度が終わる時に、充実していた、頑張れた、成長できた、という気持ちを持つ1年になるといいなと思っています。

頑張りましょう。

終わります。